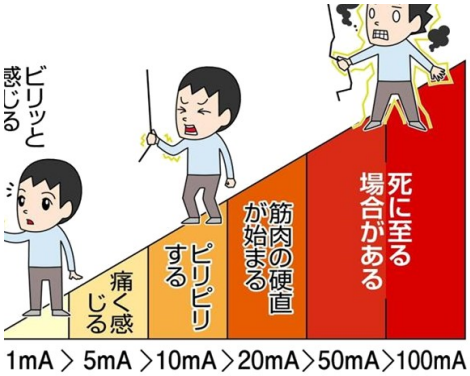
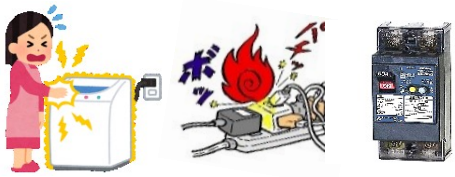
防災一口メモ

小塚　輝勝（29 期　環境）

7 月～9 月の夏場は、感電事故が最も多くなる季節です。その理由は、気温による肌の露出が高まること、汗によって体の絶縁抵抗が低くなることです。また、暑さによって作業中の注意力が低下することも原因だと指摘されています。アース線や漏電遮断機を取り付けるほかにも、日常のちょっとした心がけで**漏電・感電を防止**できます。

1 電気コードを折ったり曲げたり、あるいは束ねた状態で使ったりしない。

2 プラグにホコリをためないように定期的に掃除する。

3 タコ足配線の利用を避ける。

4 濡れた手で電気機器を扱わない。